

教育環境NEWS vol.4

志々小学校閉校イベントを開催

6月に組織された志々小学校閉校行事実行委員会でご企画されたイベントが続々と開催されています。

8月のお盆期間には、地域住民や卒業生のため、校舎を開放。3日間で多くの方々を訪れ、写真を撮影したり、教室のイスに座ったりと懐かしむ姿が見られました。校舎見学は今後、10月と11月にも企画されています。

閉校まで五ヶ月。記録と記憶に残るイベントに

9月には、校舎に掲げる絵画を谷在住のデザイナーの十鳥さんのご協力のもと、志々地区の子どもたちや住民の皆さんが制作。楽しく協力しながら、描き上げました。

作品は、9月26日(土)に開催された志々地区合同体育大会でお披露目。大会の最後には絵画をバックに参加者全員で集合写真を撮影しました。絵画は今後もイベント等で志々トレーニングセンターやさつき会館に展示予定です。ぜひご覧ください。



閉校に伴うイベントは今後も企画されており、町のホームページ(二次元コードから)に予定を掲載しますので、ご確認ください。



教育環境NEWS vol.4

第3回小中学校再編検討委員会を開催

今後の人口減少に対応した小中学校の再編を検討し、本町にふさわしい教育環境をつくるため第3回となる「小中学校再編検討委員会」を開催しました。

今回は、小中学校再編の場所や時期について、町の今後の方針を説明。児童生徒数の推計の厳しい状況や、保育所の再編検討など、基本方針や基本計画を策定した当時と比べて、情勢が変化していることなどを考慮し、「中学校は、将来的な小中高の連携強化を図るため、飯南高校及び来島小学校周辺での新

飯南高校・来島小学校周辺に教育拠点の形成を検討

設を基本にしつつ、さまざまな可能性を検討し『飯南町ならではの魅力ある教育』をより一層強化できる教育拠点を形成したい』と説明しました。

また、再編時期は、町内全体の小学校入学児童数が10人前後となり始める令和13年度以降に実施する方向で検討を進めること、児童数の減少を考慮し、小学校の更なる再編検討が必要であることも説明。今後、必要な事業規模や配置、財源、財政見通しなどを精査。12月議会に具体的な場所や再編時期を示す予定です。

第3回の再編検討委員会で配布した資料は町ホームページに掲載しています。また、説明に対しての主な意見は下記のとおりです。



Q. 新校舎の事業費や造成費はどの程度か。

A. 概算事業費は今後算出予定です。来島小学校の校庭に新校舎を建設する場合、代替となる校庭の確保に伴い造成が必要となる可能性があり、その費用も含め今後精査します。

Q. 義務教育学校や小中一貫型学校の検討はするのか。

A. 検討も必要と考えています。利点だけではなく、学校運営上の厳しさもあることから、小中一貫型学校を視察し、実際の教育環境や学校運営の状況を確認したいと考えています。

Q. 令和16年・17年を目途に小中学校を一体とした校舎を新設していただきたい。また、中学校新設の時期はいつごろか。

A. 令和13年度以降で再編時期を検討します。新校舎を飯南高校・来島小学校周辺に新設した場合、新校舎建設に2年、造成も含めると少なくとも5年はかかると考えています。